

株式会社アピックスインターナショナル

APIX INTERNATIONAL CO.,LTD.

アフターサービス（製品の使い方や修理などに関するお問合わせ）

☎0120-350352

〔受付時間〕10:00～11:30・13:00～17:00
（土曜、日曜、祝日、弊社休業日を除く）

予備回線：TEL.0587-38-5320

※ご使用の回線（IP 電話など）によっては
回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

〒482-0015 愛知県岩倉市川井町薬師堂 77 番地

TEL.0587-38-5320（代） FAX.0587-38-5323

部品購入ご希望の方はこちらにアクセス ▶▶▶ <http://www.apix-direct.jp/>

APIX INTC[®]

取扱説明書

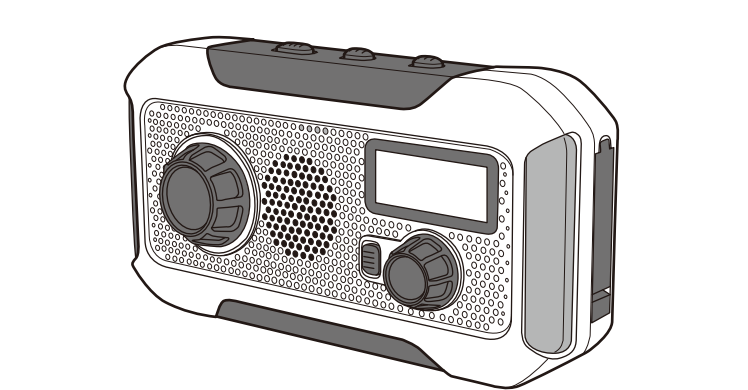
手回し充電ラジオライト

保証書付

品番

AJL-H363

このたびは本製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
取扱説明書及び保証書は大切に保管し、いつでも見られるようにして
ください。



❗
お願い

初めてご使用の場合は、フル充電後に、使用や保管を行ってください。



●イラストと実際の製品は異なる場合があります。

お手入れと保管

《お手入れについて》
●汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で拭いてから、
乾いた布で拭き取ってください。シンナーやベンジンで拭かないでください。
《保管について》
●長期間使用しない場合は、内蔵充電機に充電が半分以上（充電残量ランプ
2 個以上点灯）ある状態にし、乾電池を取り出してから保管してください。
●内蔵充電機を長持ちさせるため、約半年に 1 回充電、点検を行うことを
推奨します。
●製品は異常な低温・高温下で保管しないでください。

❗
注意

内蔵充電機を長持ちさせるため、必要以上の過充電や過放電
（完全に放電した状態）で保管しない
●内蔵充電機の寿命が極端に短くなります。

《廃棄について》

①本体後面の5箇所（各部の
名称に記載）を外します。

②コネクターを外します。

③内蔵充電機カバーのネジを外し、
内蔵充電機を取り出します。

④内蔵充電機カバーを外し、
充電機を取り出します。



取り外した内蔵充電機は、リサイクル協力店に設置している
「充電式電池リサイクルBOX」に入れてください。
内蔵充電機は家庭ゴミとして捨てないでください。

❗
注意

●製品を廃棄するとき以外は、絶対に分解しないでください。
●分解の際はケガに注意してください。
●配線は絶対にハサミなどで切らないでください。感電の原因になります。
●内蔵充電機は交換できません。

❗
お願い

内蔵充電機は完全に使い切ってから分解してください。

《前面》

《後面》

本体内部

コネクター

充電機カバー

アフターサービス

修理・お手入れ・ご使用方法などについては、まずはお買上げの
販売店または弊社アフターサービスへご相談ください。

①この取扱説明書には保証書が付いています。お買上げの際に販売店より必ず
保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。

②保証期間はお買上げ日より1年です。その他詳細は保証書をご覧ください。

③保証期間経過後の修理について、修理によって機能が維持できる場合は、
お客様のご要望により、有料修理を致します。詳しくはお買上げの販売店に
ご相談ください。

④本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

※修理の部品は部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

★個人情報の取り扱いについて
株式会社アピックスインターナショナルは、お客様よりご提供いただいた個人情報に
ついて、適正な管理を行い、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き
お客様の同意が無い限り、第三者への開示または提供は致しません。

安全上のご注意

●ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや
他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、
危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをする
ことにより生じることが想定される内容を[危険][警告][注意]の3つに
区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りく
ださい。

⚠危険

取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性が高い内容を示します。

⚠警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意

人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

※お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでもお読みいただ
ける場所に必ず保管してください。

⚠危険



分解禁止

●本製品は絶対に分解しないでください。
●発火したり、異常動作したりしてケガをする恐れがあります。

●傷んだ充電用ケーブルは、絶対に交換・分解・修理・改造をしない
●火災や感電の原因になります。充電用コードが破損したときはただちに
ご使用を中止し、ご使用の機器が推奨している充電用コードを使用し
てください。

⚠警告



真水・水道水以外の液体（洗剤や入浴剤の入った水、温泉水、
高温のお湯、プールの水、海水など）をかけたり、水の中に入れ
たり、丸洗いたりしない
●ショート・感電・故障の恐れがあります。
●防滴性能を保つために、差込口カバーを完全に閉めてください。
●強い水しぶきをかけないでください。
●浴室など水のかかるところで使用しないでください。
●雨水など大量に水がかかるところで使用しないでください。

隙間にピンや針金などの金属物や異物、指を入れない
●感電や異常動作して、ケガや故障する恐れがあります。
●異物が入ったときは、使用を中止しお買上げの販売店または
弊社アフターサービスにご相談ください。

●充電用ハンドルを持って、本体をぶら下げたり、
振り回したりしない
●ケガや破損の原因になります。



梱包用ポリ袋などは、幼児の手の届かないところに保管する
●被るなどすると、口や鼻をふさぎ、窒息の原因になります。

⚠注意



不安定な場所に置かない
●転倒、落下し、故障の原因になります。
●本体に強い衝撃を与えない
●ケガや故障の原因になります。
●高温の環境に置かない
●故障の原因になります。
●LED発光部を直視しない
●眼を痛める恐れがあります。

仕様

電源	リチウムイオン充電機（内蔵）：DC3.7V 2200mAh アルカリ乾電池（別売）：DC6.0V（単4形乾電池×4）
本体定格入力	DC5V 1A
受信周波数	AM/522～1629KH z FM/76～108MHz
実用最大出力	0.5W
入力端子	USB Micro-B×1
出力端子	イヤホン端子：3.5φミニジャック×1 USB-A×1
使用温度範囲	-10℃～55℃
充電温度範囲	0℃～55℃
製品寸法（約）	幅149×奥行51×高さ80mm
製品質量（約）	260g（付属品を含まない）
充電用コード長（約）	0.8m

●製品の品質向上のため、仕様は予告なく変更する場合があります。

《電池持続時間》※フル充電時の連続最大持続時間

		内蔵充電機	アルカリ乾電池
ライト使用時	ライト	約10時間	約30時間
	点滅灯＋サイレン	約7時間	約13時間
ラジオ使用時	スピーカー（最大音量）	約10時間	約9時間

※あくまで目安であり、可動時間を保証するものではありません。
※乾電池使用の場合、ライトの明るさや音量は乾電池残量により変化します。
※乾電池のメーカーにより持続時間は異なります。

⚠注意



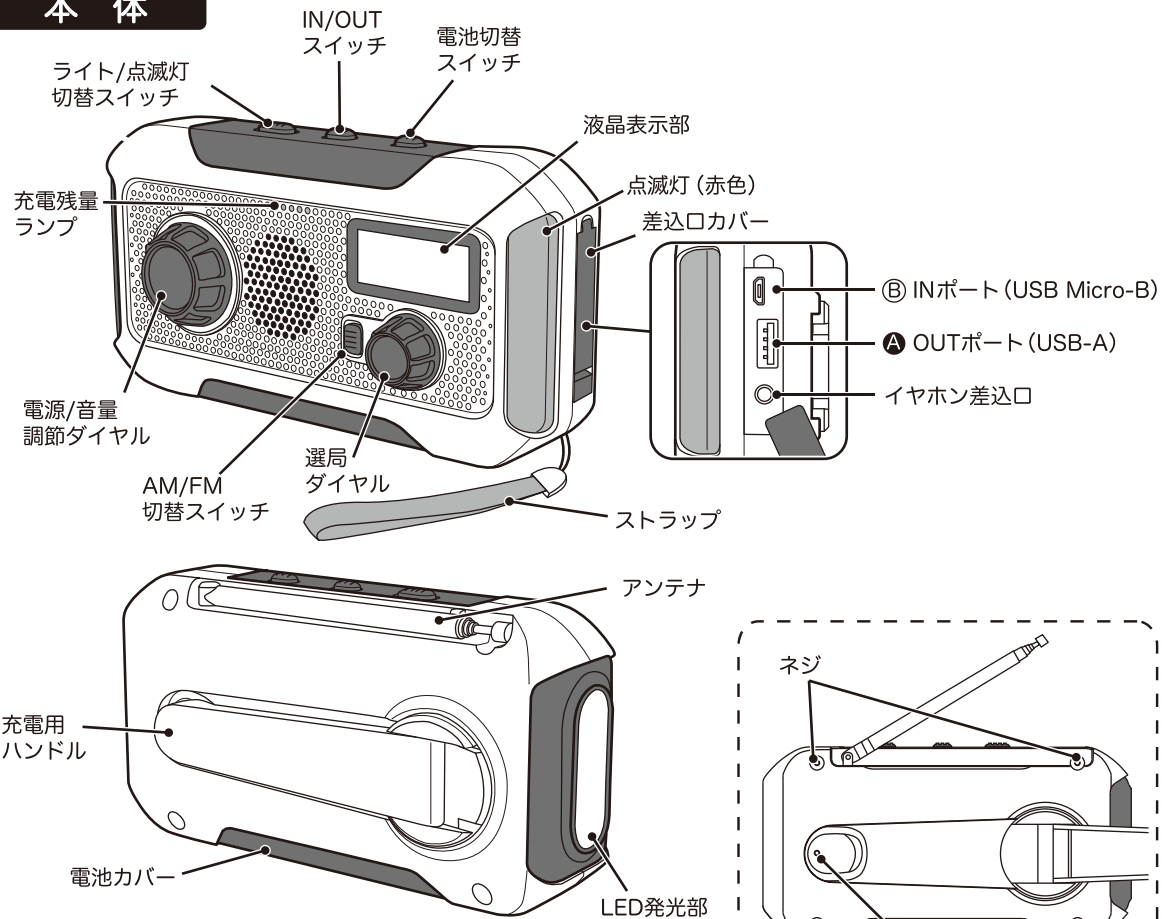
長時間、連続して充電用ハンドルを回さない
●連続して充電用ハンドルを回すと、本体表面の温度が高くなること
があります。温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温ヤケドの
原因になります。
●磁気の影響を受けやすいものを近づけない
●スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが
正しく機能しなくなる恐れがあります。
●過度にアンテナを調節しない
●破損する恐れがあります。



以下の異常が発生した場合、使用を中止し、
弊社アフターサービスにご相談ください
●本体内部が濡れた場合。
●本体が破損した場合。
●本体から煙、火花が出た場合。
●LED発光部が点滅、破損した場合。
●製品は定期的にお手入れをする
●ホコリや汚れがたまると、発火・発煙などの恐れがあります。
●充電時やイヤホン接続時に水がかからないようにする
●差込口カバーが開いた状態では防滴仕様ではありません。
●テレビなどの電子機器から離して使用する
●ラジオに雑音が入る場合があります。
●イヤホン接続前に音量を下げる
●音量を上げすぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める
原因になります。
●長期間使わないときは、乾電池を取り出す
●液漏れ・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

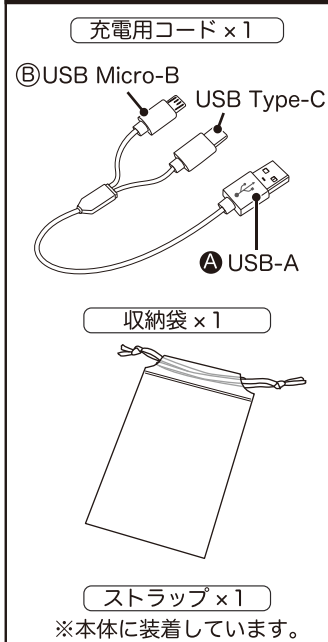
各部の名称

本体



●イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。

付属品

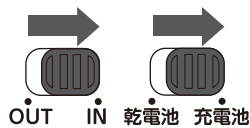


使い方

本体を充電する

《はじめに》

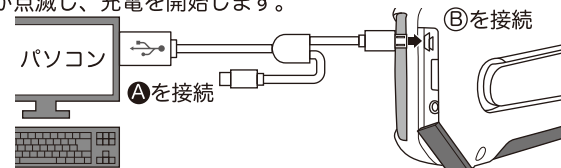
- ① IN/OUT スイッチを「IN」に切り替えます。
※「IN」に設定されていないと本体に充電できません。
- ② 電池切替スイッチを「充電電池」に切り替えます。



外部電源から充電する

- 付属の電源ケーブルを、本体とパソコンなどの USB ポートや市販の AC-USB アダプターにつなぎます。
- 充電残量ランプが点滅し、充電を開始します。

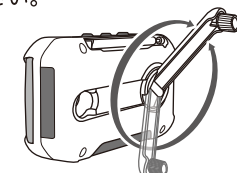
《フル充電時間》
約3時間



充電残量目安	1～25%	26～50%	51～75%	76～99%
充電残量ランプ	● 1個目が点滅	● 2個目が点滅	● 3個目が点滅	● 4個目が点滅

充電用ハンドルで充電する

- 充電用ハンドルをどちらか一方に回してください。
- 充電中は充電残量ランプが点滅します。
- 左右どちらに回しても充電できます。
- 充電用ハンドルは1秒間に2回転を目安に回してください。
- 充電用ハンドルを回している間、充電残量ランプが点滅し、充電を開始します。
(充電残量が無くてもライト、点滅灯は使用できます)



注意 充電用ハンドルは早く回しすぎない
●早く回しすぎると故障する恐れがあります。
(1秒間に2回転以上回しても充電速度は変わりません)

乾電池(別売)を使う

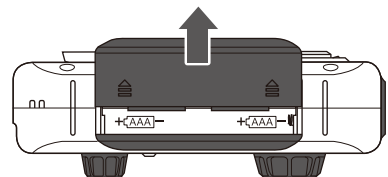
《はじめに》

- 電池切替スイッチを「乾電池」に切り替えます。
※乾電池は付属していません。別途ご購入ください。

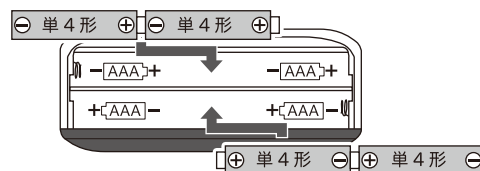


乾電池を入れる (単4形乾電池×4)

- ①電池カバーを矢印の方向に引き出します。



- ②「+・-」の表示に合わせて電池を入れ、電池カバーを閉めます。



お願い

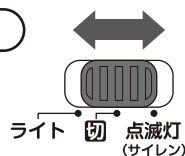
- 必ずアルカリ電池を使用してください。
- 「+・-」を正しく入れてください。
- 新しい電池、使用済の電池や違う種類の電池は混ぜて使用しないでください。
- 動作しにくくなった場合は、新しい電池と交換してください。
- 液もれによる故障の恐れがあるため、長時間使用しないときは電池を取り出してください。
- もし液もれが起こった場合は、液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 使用済みの電池は、お住まいの地域のゴミ分別方法に従って廃棄してください。

使い方

ライトを使う

ライトをつける / 点滅灯をつける / 消す

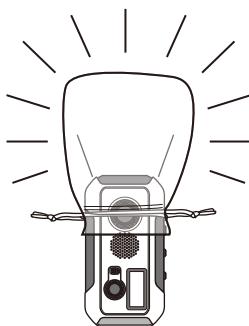
- ライト/点滅灯切替スイッチをスライドさせてお好みの設定に合わせてください。



注意 ●点滅灯を使用する場合、サイレンの音を消すことはできません。
●サイレンの音を小さくすることはできません。

簡易ランタンとして使う

- 本製品は簡易ランタンとして使用することができます。周辺を明るく照らしたいときにオススメです。
- ライト側に付属の収納袋やお手持ちの半透明の袋を右図のようにふんわり被せます。



充電電池でスマートフォンや携帯電話を充電する

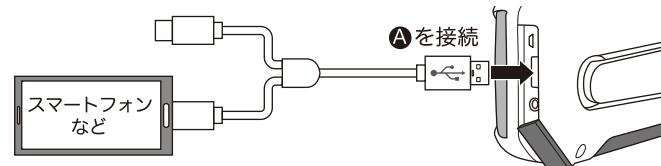
※乾電池では外部機器に充電できません。

《はじめに》

- IN/OUT スイッチを「OUT」に切り替えます。
※「OUT」に設定されていないと外部に充電できません。



- 図のように付属の充電用コードをご使用の機器に差し込みます。
※必要に応じて、ご使用の機器が推奨している充電用コードをご使用ください。



注意

- 充電用コードに外部機器を2台以上接続しないでください。故障の原因になります。
- 充電用ハンドルで直接外部機器に充電できません。
- 機種により充電時間や充電量は異なります。
- 1A以上の機種は充電できない場合があります。
- 本体が過放電(完全に放電した状態)では外部機器(スマートフォン・携帯電話)に充電できません。
- 万一、本製品の使用中にご使用の機器のメモリー内容が消去されても、弊社では補償はいたしません。
- 全ての機器への充電を保証するものではありません。

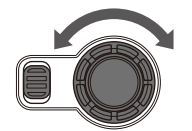
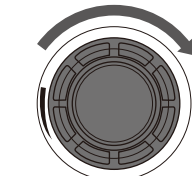
ラジオを使う

お願い

- テレビなどの電子機器から離して使用する
- ラジオに雑音が入る場合があります。

ラジオを起動する / 終了する

- 「電源/音量調節」ダイヤルを時計回りに回すと「カチッ」と音が鳴り、電源が入ります。
電源を切るときは、「カチッ」と音が鳴るまで反時計回りに回してください。



選局する

- 「選局」ダイヤルを回し、液晶表示部を見ながらお好みの周波数を選んでください。
- 素早く回すと自動選局を開始します。

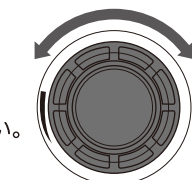
AM/FMを切り替える

- 「AM/FM切替」スイッチをスライドさせるとAMとFMが切り替わります。



音量を上げる / 下げる

- 「電源/音量調節」ダイヤルを時計回りに回すと音量が上がります。反時計回りに回すと音量が下がります。液晶表示部を見ながら操作してください。



受信状況を良くする ※FMの場合

- アンテナを伸ばし、向きを調整してください。
- 建物内部では電波が弱くなります。
雑音が気になるときはなるべく窓際に置いてください。

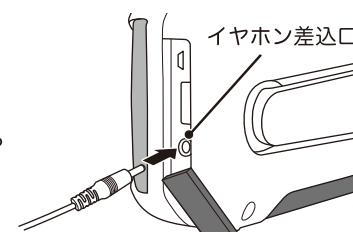


注意

- 過度にアンテナを調整しない
- 破損する恐れがあります。

イヤホンで聴く

- イヤホン差込口にお手持ちのイヤホン端子を接続してください。
※イヤホンを接続するとスピーカーから音が出なくなります。



注意

- イヤホン接続前に音量を下げる
- 音量を上げすぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になります。
- イヤホンを接続しているときは、水がかかる場所で使用しない
- 差込口カバーをしっかりと閉じていないと防水性が失われます。
- 市販のイヤホンはメーカーによりプラグの形状が異なり、差し込みにくいものがあります。